

J A は だ の

発行所
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均

秋の座談会に出席を
10月2日(金)～10月16日(金)
秋の座談会を10月2日
す。内容は2015年度
(金)～10月16日(金) 上半期活動報告や「第四
望をJA運営に反映する
に、市内84会場で開催ま 次中期経営計画」骨子
席をお願いいたします。

彼岸向け小菊 花持ち良く好評

彼岸向けの小菊を生
を流した。
県内トップの小菊の生
産量を誇る秦野市で、彼
岸を前に収穫が最盛を迎
えた。花き部会露地部の
部員らは、県内外の市場
や直売所へ出荷するた
め、連日、収穫作業に汗
を流している。
平沢の柳川賢治部長
は、約50坪の畑で白、赤、
黄の色とりどりの小菊を
栽培し、夫妻で収穫や選
別、箱詰め作業に励む。
小田原市や静岡県、大阪
府の市場などへ、多い日
で1日7000～8000
0本を出荷。市場関係者
からは「花持ちが良くて
いつも高品質」と評価が
高い。
今年は8月下旬の低温
と多雨の影響で生育が遅
れ、栽培管理や出荷時期
の調整が難しい年となっ
た。厳しい状況が続いた
が、部員の懸命な努
力により、草丈のあ
る良質な小菊に仕上
げた。柳川さんは
「部員の高齢化が進
んでいるが、伝統あ
る小菊を守ってい
く。消費者には新鮮
で品質の高い小菊を
届けていきたい」と
意気込みを語った。



小菊の収穫作業に励む柳川さん夫妻

現況と課題を共有化

役職員が将来見据え説明会

JAはだのは8月24日、本所で「JAの現況と課題」説明会を開いた。協同活動の経過と現況を把握し、将来の動向を探ることで、さらにJA運動を発展させることが目的。理事と職員合わせて47人が出席した。
山口政雄組合長は開会
のあいさつで、「農協改
革やTPP(環太平洋連
携協定)交渉など厳し
い状況が続いているが、JA
Aグループの現状をしっ
かりと理解して、より良
いJAづくりに励んでい
たい」と呼び掛けた。
講師は、JA県中央会
の四條信仁経営指導部長
が務めた。県内15JAの
基盤組織の活動状況や
別経営安定対策などの
現況と課題を説明。経

さらにJA運動 発展させよう



今後のJA運営につい
て理解を深める理事ら

地域に根差した鶴巻支店へ

ふれあいマル シェと連携 1周年記念しイベント

鶴巻支店は2日、同支
店の駐車場で行った。先着200人に用意し
たスピードくじは、開店
から2、3時間で終了し
た。マルシェは同地区の
農産物をPRしようと、
くじを目的に、鶴巻地区
の農産物が開く農産物直
売市「ふれあいマル
シェ」のすくい取りを催し
た。来店者の一人は「米
のすくい取りは初めて。
も地域住民に親しみやす



米のすくい取りに挑戦する来店者

い店舗にしていきたい」
と意気込み。
同マルシェの久保寺孝
一会長は「マルシェもだ
いぶ地元に関連してき
て、これからも頑張っ
ていきたい」と話し、今
後もJAと連携を図りな
がらイベントを開催して
いく意欲を見せた。

接近! おじゃます

新鮮な野菜を消費者へ



羽根の
かとう 加藤 秀雄さん(70)

「新鮮な野菜を消費
者に届けたい」と話す
のは、羽根で露地野菜
などを栽培する加藤秀
雄さん。葉タバコやカ
ーネーションなどを生
産する農家の長男とし
て生まれ、学校から帰
ると農作業の手伝いに
汗を流していた。大学
卒業後は真経通(現
在の全農)に就職。フ
ロッコリー、栗など
を栽培。じばさんず
に出荷する他、自宅入
口の設置している無人
直売所で販売する。
「新鮮でおいしい」と
好評で、うれしい反響
はやりがいにものな
がら、加藤さんは現在、50
坪のほ場でキュウリや
入れてから店頭に並べ
ている。「作業は大変
だが、夕方まで鮮度が
保たれるし味が違う」
と手を抜かず、常に
より良いものを提供し
ようと心掛けてい
る。
農業を本格的に始め
て今年で11年目を迎え
「農作業はほとんど試
行錯誤だったが、農家
の仲間から教えてもら
いながら、少しずつノウ
ハウが分かってきた」
と手心えを感じてい
る。「農業は体が資本
なので、体調に気を付
けながら、先祖代々の
畑を今後も守ってい
きたい」と笑顔で話し

早生種メーンに有利販売

生産性向上に期待
ソバ3期作に成功

堀川の石井さん
1等級に胸張る

★ 営農技術 ★
ヒント・ポイント

4. 調製作業
1.8ミ以上のグレー
ダーで丁寧に調製し、品
質の良い玄米に仕上げま
しょう。

5. 異物混入防止
出荷玄米に異物を混入
させないため、コンバイ
ンの刃の調整、倒伏やも

目安です。
もみの水分が21%を切っている場合は、玄米水分がさらに低いことがあるので、注意してください。

トシ子さん(鶴巻南)
コンの種をまいて、育った
みんなでおいしく食べたい

声を掛け合いながらプレーする部員



そは生地の切り方を指導

大根・北

園児の親にそば打ち指導

女性部は、次世代に伝統料理を伝える活動の一環として、各支部でふるさと料理教室を開いている。園児の親を対象に、14日には北支部が、18日には大根支部がそは打ちを指導した。

14日のそば打ちでは、部長が作り方をデモンストレーションした後、班に分かれて調理を開始。参加者は生地を均等の厚さにするこつや、包丁で細く切るときの注意などを教わりながら、手打ちそばを完成させた。

後、オリジナルのシールを貼った容器に入れて完

室

らへちま水を探取し持
参。クリセリンやエタノールなどと混ぜ合わせた

調理器具の使い方
方を学ぶ参加者

本格中華に挑戦

東支部が
ギョーザ作り

東支部の部員16人は8月25日、本所の調理実習室でギョーザ作りをした。中国の北京出身で、同支部部員の趙芳萍（チヨウファンラン）さんを講師に、4種類のギョーザとジャガイモの酢いたたけ、マーマリナスを作った。

「中華は手間を掛けるほどおいしくなることが分かった」と感想を話した。



ギョーザの作り方を教わる部員

樹海の中をウォーキング
.....
山梨県方面を訪れ、ハイ
キングをした。会員87人
が参加した。

一行は、富士山麓最大級の溶岩洞窟・西湖コウモリ穴や天然記念物の洞穴・富岳風穴、青木ヶ原樹海などを散策。その他、道の駅「なるさわ」にある富士山博物館の冒険学や、農産物直売所での買い物を楽しんだ。



洞窟や樹海散策

目的別趣味グループ「歩こう会」は8月28日、

告知板

秦野市畜産まつり

〔第59回畜産共進会開催〕
肥販売、バーベキュー、焼きそばなどの模擬店、家畜コンテストの畜産共進会と併せて「畜産まつり」を開催します。秦野市の畜産に触れ合えるさまざまなアトラクションをご用意しています。ご家族そろって遊びに来てください。

◎日時 10月4日(日) 午前10時～午後2時(※雨天決行)
◎場所 田原ふるさと公園中丸広場
◎出品家畜 乳牛、豚、肉牛、綿羊
◎内容 畜産共進会、小動物ふれあいコーナー

氏名・住所・電話番号など届出事項に変更があった場合は、支所・支店窓口までご連絡ください。また、組合員資格要件に変更がある場合は、直ちにその旨を書面で届け出たください。組合員資格の喪失や、耕作する土地が10坪

じばさんず十五夜飾り

平沢の栗原悦子さん

平沢の栗原悦子さんは11日、じばさんず店内に十五夜飾りを設置した。十五夜飾りは、自宅に生えていたススキやワレモコウなどの7品目の草花を使用して装飾。最後に柿と手作りのまんじゅうを置いて完成させた。

栗原さんは「毎年飾り付けていて、楽しみにして



平沢の栗原悦子さん

堀川の片倉妙子さんが、へビがとろろを巻いたようなサツマイモを収穫した。直線にすると約100センチもあり、重さは約700gある。片倉さんは、畑でマールチが盛り上がりつつある箇所を発見、手で丁寧に掘り起こしたところ、そのままの形で収穫することができた。



へビのようなサツマイモ

堀川の片倉妙子さん



千村の小野薫さん

小さいチャボの卵を発見

千村の小野薫さん

千村の小野薫さんは4日、自宅で飼育するチャボの小鳥で小さな卵を発見した。10羽のチャボを飼育している小野さんが、朝の餌やり時に飼育小屋をのぞいたときに見つけたもの。チャボの卵は通常4〜5センチだが、発見した卵は2センチほど半分以下の大きさだった。

小野さんは「6年ほど前から飼っているが、こんな小さい卵は初めて見た。割るのはもったいないが、中も早く見てみたい」と話した。

2015年度米穀の検査集荷について
2015年度米穀の検査集荷を下表の通り実施します。持ち帰り検査を希望する方は、①印の検査日(計4回)にお願ひします。指定日以外の実施しません。大根地区以外の方は、持ち帰り専

農業制度資金のご案内

主な資金メニューは4種類

- 1、かながわ都市農業推進資金
◆農業近代化資金
○一般的な事業投資向けの資金
○主に認定農業者が対象
◆農地取得資金
○農地、畜舎用地などを購入するときに利用する資金
◆簡易融資資金
○簡易な手続きにより、小口の資金需要に機動的に対応する資金
- 2、就農支援資金
○新規就農する際に利用できる資金(農家後継者でも可)
○認定就農者だけが対象
- 3、農業改良資金
○新分野や新技術など、新たな取り組みにチャレンジするときに利用できる資金
- 4、農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)
○資金規模が大きいもの、償還期間が長いもの、農地取得を含むものなどに利用。
○認定農業者だけが対象
どの資金を利用するかは、借入者、資金使途、投資事業の内容などによって、目的に合った最適なものを選択することになります。
お問い合わせは融資課または各支所・支店まで。

10月のイベント情報

※準備の都合上、内容に変更があることがあります。ご了承ください。

- ☆「ユースマルシェ」3日(土)
青年部部員が、サツマイモ、ジャガイモ、サトイモ、オクラなどを対面販売します。
- ☆「新米まつり」3日(土)、4日(日)
大人気の秦野産キヌヒカリがついに登場! 豪華賞品が当たるイベントです。
- ☆「トマトの日」10日(土)
秦野産のトマトを活用したオリジナルドレッシングのレシピを紹介しします。
- ☆「おすすめ品フェア」10日(土)、11日(日)
お酒のお供になる乾物などを豊富にご用意しています。
- ☆「農家の手作り加工品」11日(日)、12日(月)
農家が手作りしたさまざまな加工品をご用意します。
- ☆「お茶フェア」17日(土)、18日(日)
生産者による対面試飲販売を行います。
- ☆「お楽しみ詰め放題」17日(土)、25日(日)
地場産農産物の詰め放題をします。お楽しみに!
- ☆「鍋フェア」24日(土)
さまざまな鍋の素をご用意しています。地場野菜を使い、試食販売を行います。
- ☆「さつまいもフェア」24日(土)、25日(日)
秦野産の甘くておいしいサツマイモを試食販売します。
- ☆「生産者のお弁当」27日(火)
農家のお母さんの手作り弁当は、旬の野菜がたくさん入っているんですよ!
- ☆「秋の味覚フェア」31日(土)
リンゴなど、旬の果物を試食販売します。
- ☆「試食の日」毎週水曜日
生産者が出荷している旬の農産物やレシピを紹介しします。
- ☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10%引き。
- ☆「肉の日」毎週木曜日
秦野産・県産肉製品が5%引き。

検査日程		
検査予定日	検査場所	該当地区
9月28日(月)◎	大根支所	大根
10月6日(火)	大根支所	大根
10月8日(木)◎	本所	大根以外 全地区
10月15日(木)	大根支所	大根
10月20日(火)	大根支所	大根
10月22日(木)◎	大根支所	大根
10月27日(火)	本所	本町
10月29日(木)	(大根予備日)	
11月5日(木)◎	本所	全地区持帰り検査
11月12日(木)	本所	東・南・北・西・上

野焼きについて
野焼きは「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」で規制されています。農林業者については、自己の農業または林

カラオケ大会
参加者を募集
11月22日(日)の農業まつりで、カラオケ大会を開催します。市内在住の方なら誰でも参加いただけます。この機会にぜひ、自慢のものを披露してみませんか。参加申し込みは9月28日(月)から。

お問い合わせは企画課まで。☎81-7714
※応募者多数の場合は抽選となります。

文芸の窓

俳句・酒井 敏光 選

先の歩に少し遅れて夏通路

評 四国巡礼の通路上に同行一人と大書きし

旅の女通路さんであらう。少し遅れて、

にその心算が伺える。

かなかなの夜明けを待たず騒ぎたつ

評 かなかなは鯛の別名で日暮と言つように

夕方近く鳴き立つものだがそうばかりで

は次々に。街灯の明るさに一つが鳴き出せ

は次々に。朝だにトーンが高い。

ほつき杉二〇〇〇余年の秋の影

秘栗の乾けてたむろ坂の道

虫売りのかごの中より虫の声

秋の星一つ身となる安寝かな

行く秋や人恋しくて友を訪ふ

水田を思い出している終戦日

猪のさえずりわめ生りなすびかな

嘘ごもたんで仕舞う秋扇

短歌久保寺 富男 選

かきと玉蜀黍の葉すれにすら

おびえき夜動の吾の青春

評 玉蜀黍の葉を渡る秋風にすら、おびえ

乙女のごころ、思はず不思議でもある。年

を重ねて少々のことで驚かなくなった

自分の、若き日をなつかしんでいるので

ある。

評 近かんとする夏を惜しむ蟬、変わる季節

の先ふれのゴロキなど自然界は着実に

季節の変化を告げる。

草取りにかがまりおれはひとりごと

父の愁眉の蘇り来る。細田 富士 村

女子高生のあざやかな。峰 孝子 千 村

古文書の公開講座聴いている

眠気もおおえす八月の午後

かりそめの命惜しむか朝明公

御自家に降る蟬しぐれ

今月の理事会

9月25日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2015年度上半期事業報告について

▽JAはだのケアセン

ター運営規程(指定訪問

介護事業及び指定介護予

防訪問介護事業の一部

改正について

▽高額貸出金の借入申

込みについて

▽貸出条件変更の申し

込みについて

▽JASTEM端末機

の更新について

職員人事

9月1日付で職員人事

異動を行った。かっこ内

は旧部署。

◎異動

▽高橋美希→西支所

(金融共済部共済課)

▽南矢名下部 佐藤和

紀 〆南矢名下部 小澤八重子

〆大槻上部 奥津知恵

〆新井志保 〆大槻下

〆高橋幸江 〆榎本和江

〆鶴巻上部 〆佐藤千鶴

〆岩田安喜子 〆鶴巻中

〆枝(8人)

〆南矢名上部 〆金原和

〆枝(8人)

〆振興乳牛 〆海原裕子

〆入船 〆沼田久雄、加藤

善浩 〆山井永豊 〆新

井部 〆井上早苗、清水

淳平、清水弥生、梁井久

美恵 〆北町第二 〆保崎佳

〆池田みよ子、加藤

〆代子、池田みよ子、加藤



大豆を食べよう! ~畑から食卓へ~

納豆

東支所 台田 久美子

【材料4人分】

大豆250g、納豆菌0.1~0.2gもしくは市販の納豆1パック、ぬるま湯100g

【作り方】

- ①大豆を洗って、1日水に浸しておく。
- ②大豆を圧力鍋に入れ、20分ほど圧をかけて蒸す。
- ③80度ぐらいのぬるま湯に、納豆菌を入れる。
- ④蒸した大豆が熱いうちに、③もしくは市販の納豆と混ぜ合わせる。
- ⑤大豆を容器に入れ、水滴が大豆につかないようにふたに布をはさむ。密封はせずに、40度ぐらいを保つように20~24時間保温、発酵させる。
- ⑥大豆にねばりが出たら、冷蔵庫に入れ、半日から1日熟成させる。

【一言アドバイス】

大豆は軟らかくなるまで蒸した方がおいしくできます。納豆菌を入れた豆は、あまり重ならないようにします。発酵は使い捨てカイロか湯たんぽを使うと良いです。
※このレシピはJAはだの女性部大豆料理コンクールで優秀賞に選ばれた料理です。

JAデイサービスセンターはだの ボランティア活動状況<8月>

利用者募集中

JAデイサービスセンターはだのでは新規利用者募集中です。ぜひ一度見学に来てください。日曜日以外は、営業しております。お気軽にお問い合わせください。 ☎85-5177

日 曜	ボランティア名	内 容
1 土	・野木三夫	将棋
3 月	・まめの木 (石井)	お茶出し、話し相手など
4 火	・絵手紙愛好会 (戸沼、測上)	絵手紙
6 木	・石井博行	将棋、オセロ
7 金	・石井博行	将棋
8 土	・北陽会 (5人)	踊り
9 日	・花の友、友の会 (8人)	踊り
10 月	・小島繁義	将棋、オセロ
11 火	・岩田計枝	お茶出し、話し相手など
12 水	・石井博行	将棋
13 木	・まめの木 (芦川、関野)	お茶出し、話し相手など
14 金	・竹トポ (奥谷、泉田、中山)	音楽ボランティア
15 土	・石井博行	将棋
16 日	・石井博行	将棋
17 月	・まめの木 (山口、遠藤)	お茶出し、話し相手など
18 火	・野木三夫	将棋
19 水	・岩田計枝	お茶出し、話し相手など
20 木	・まめの木 (芦川)	お茶出し、話し相手など
21 金	・すみれの会 (宇山、森谷、鈴木、谷川)	新聞どろり絵
22 土	・石井博行	将棋
23 日	・石井博行	将棋
24 月	・モキハナ (12人)	フラダンス
25 火	・石田ヨシ子	お茶出し、話し相手など
26 水	・小島繁義	将棋、オセロ
27 木	・絵手紙愛好会 (谷、穴吹、永村)	絵手紙
28 金	・まめの木 (諸星)	お茶出し、話し相手など
29 土	・南友の会 (7人)	踊り
30 日	・ひばりの会 (飯沼、小山田)	お茶出し、話し相手など
31 月	・石井博行	将棋、オセロ
	・石井博行	将棋、オセロ
	・まめの木 (山口、遠藤)、石田ヨシ子	お茶出し、話し相手など
	・野木三夫	将棋
	・まめの木 (関野、芦川、飯田)	お茶出し、話し相手など

税務相談日 10月13日(火) 午前9時30分~
法務相談日 10月20日(火) 午後1時30分~
場所 JAはだの本所2階
組織教育課 ☎81-7714
・予約制となっていますので、事前にお電話にてご予約をお願いします。
・受け付け順に相談時間が決まります。

結婚相談日 10月10日(土)
時間 午前9時~正午
場所 JAはだの本所
農業団地センター1階
お問い合わせ
組織教育課 ☎81-7714

▽八沢第二 〆鈴木恵 (1人)
▽北地区 〆菅原隆一 〆樋口しのぶ 〆戸川西 〆桐山清 (2人)
▽東地区 〆三協町 〆國友悦子、大淵理恵 〆宮町 〆栗原美恵 〆北町第二 〆保崎佳代子、池田みよ子、加藤

▽西地区 〆沼代 〆米山敏明、水野安則 〆学校前 〆増井健志、府川琴乃 〆堀川上 〆田代隆 〆堀川下 〆諸星清曲 〆松 〆渡邊梓太郎 〆橋曲 〆佐藤祐子 (9人)
▽西地区 〆沼代 〆米山敏明、水野安則 〆学校前 〆増井健志、府川琴乃 〆堀川上 〆田代隆 〆堀川下 〆諸星清曲 〆松 〆渡邊梓太郎 〆橋曲 〆佐藤祐子 (9人)

住宅ローン 年金受給手続き 休日相談会

●マイホームの新築・購入から、リフォーム・借り換えまで、資金のご相談を受けております。
●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。

日時 10月25日(日)
※時間は午前9時~午後4時まで
どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

会場 JAはだの本所 農業団地センター
ご来場の方に記念品を贈呈

それぞれ事前予約を
されと便利です。 ①住宅ローンを相談される方は 融資課 に
②年金受給手続きを相談される方は 信用課 に

JAはだの本所
秦野市平沢477

■融資課 ☎81-7713
当日は ☎0120-954-093
■信用課 ☎81-7716
当日は ☎0120-954-092

写真コンテスト 作品を大募集!

“ゆとり” “やすらぎ” “うるおい”
秦野の農業の魅力を発信する写真をお待ちしています

応募締切は 10月23日(金)

第11回JAはだの「農」の魅力写真コンテストの募集要項・応募用紙は各支所・支店・組織教育課へ

農作業まず安全に

事故の撲滅へ運動展開



農機の整備を進める組合員ら

J Aはだの、農作業性農産物生産者の増加など中の事故撲滅を目指し、で、農作業中の傷害事故15日から秋期農作業安全運動に取り組んでいる。農業者の注意を促している。期間は10月31日まで。

期間中J Aは、支所・支店に看板を設置して注意を呼び掛ける他、農機整備講習会を開き、安全使用を呼び掛ける。組合員らも自主的に講習会を開くなど、市内で秋の農機整備講習会を開き、安全使用を呼び掛ける。組合員らも自主的に講習会を開くなど、市内で秋の農機整備講習会を開き、安全使用を呼び掛ける。

点検や整備講習 農機セ

11日には、農機センターが竹ノ内、二ツ沢の両生産組合を対象に整備講習会を開いた。組合員8人が、山岸勉生産組合長宅に各自で農機を持ち寄り、15台を点検した。組合員は、職員の指導を受けながら細部を点検し、オイルを交換、稼働部に潤滑油を差すなど整備を進めた。職員は、普段のメンテナンス方法なども伝授し、定期的な点検を呼び掛けた。

適正使用方法学ぶ

東地区直売研究会

15日には、東地区農産物直売研究会が田原ふるさと公園で、草刈り機と管理機の使用に関する安全講習会を開いた。会員約15人が参加した。講師には「柳やまび」と同センターの職員が参加した。



草刈り機の安全な使用方法を学ぶ

を招いた。草刈り機を使用する場合は、作業に適した服装と保護具を装着することや、作業中は15分以内に入ると近付けないことなどの注意点を学ぶ。その他、管理機の使用に際しては、農作業に際したアタックメントの付け方などについて知識を深めた。

じばさんずで9、11月の3カ月間に1000円以上の購入者を対象に、抽選で人気ブランドの鍋や、J Aグループオリジナルの鍋敷きが当たるキャンペーンが開催中だ。

1000円買って当てよう

じばさんずでキャンペーン

一環で、国産農産物の消費拡大とファンをつくることを目的に、応募方法は、同店の出口周辺に用意されている応募用紙に必要事項を記入し、レシートを貼った後、店内に設けている回収ボックスに投入する。当選者には当選通知が送られ、同店で賞品を受け取る。



店内に用意している応募用紙

お問い合わせは、じばさんずまで。081-7707

組織活性化目指して

生産組合長らが視察研修



イノシシへの対策方法を学ぶ生産組合長ら

J Aはだの8月21、22の両日、生産組合長視察研修会を千葉県で開いた。相互の交流を深め、組織活性化につなげることが目的。生産組合長と役員70人が参加した。

21日には、館山市にある農林総合研究センター・暖地園芸研究所を視察。担当者から、有害鳥獣による農産物の被害や研究内容、捕獲方法などについて説明を受けた。参加者は、イノシシの行動パターンなどの映像を見ながら、忌避作物の栽培や捕獲おりの設置などの対策方法を学んだ。



協力しながら調理を進める参加者

新たな商品開発目指し

加工グループが研修市内の農産加工グループなどで構成する茨野市地域特産物連絡会は8月24日、本所農業団地センターで料理研修会を開いた。調理を通じて親睦を深めるとともに、新たな加工品開発につなげることが目的。



4つの加工グループのメンバー16人が参加した。研修会では、ニンジンやタマネギなどの地場産農産物や、東地区東田原ふるさと公園農産物加工部が生産する「実朝漬」などを使い、いなりを活用したジャムやゼリーなどの加工品開発、ピワ農家と連携した観光農業などの地域活性化策を学習した。

ずしや魚の梅シソ揚げ、コロケなど6品を作った。互いにコミュニケーションを取りながら調理を進め、新たな加工品開発のアイデアを出し合った。

参加者の一人は「他のグループと楽しく交流を深めることができた。これからは協力しながら農協同組合関係者ら11人の研修を受け入れたい。研修に訪れた一行は農家に農機導入を促進させ、農業所得を増加させるため、日本の協同組合を中核とした地域活性化策を学んだ。

J Aはだの8月28日、ミャンマーの農家や協同組合関係者ら11人の研修を受け入れた。研修に訪れた一行は農家に農機導入を促進させ、農業所得を増加させるため、日本の協同組合を中核とした地域活性化策を学んだ。

ミャンマーから研修を受け入れたい。研修に訪れた一行は農家に農機導入を促進させ、農業所得を増加させるため、日本の協同組合を中核とした地域活性化策を学んだ。

43戸から4ト

農産物廃棄物回収

農産物廃棄物回収



次々と持ち込まれる廃棄資材

J Aはだの、農産物廃棄物回収の一環で、農産物廃棄物の回収に取り組んでいる。10年以上前から毎年春と秋に回収し、農家に適正処理を促している。

12日には、J A本所に43戸の農家が廃棄資材を話した。

と廃ボリの回収に取り組んでいる。10年以上前から毎年春と秋に回収し、農家に適正処理を促している。12日には、J A本所に43戸の農家が廃棄資材を話した。

地球環境を考える

文化講演会で問題提起

北野教授を講師に

J Aはだのは12日、秦野市文化会館大ホールで淑徳大学の北野大教授を講師に招き、第23回文化講演会を開いた。組合員教育事業の一環として、協同組合運動の理念を広く理解してもらうことが目的。見聞を広めようと、地域住民ら約680人が集まった。



講演する北野氏

講演のテーマは「地球環境を救う新しいライフスタイルへ」。北野氏は「地球温暖化を防ぐためには、エネルギーをどう使うか、そして心の豊かさを重視する風潮の基になった行動の重要性を訴えた。組合員教育事業の一環として、協同組合運動の理念を広く理解してもらうことが目的。見聞を広めようと、地域住民ら約680人が集まった。」

チーム力を発揮 ゲートボール大会熱戦



優勝した秦野上チーム

来場者の一人は「エトモアを交えながら分りやすく話していただいた。内容に共感でき、とてもためになる話を聞いた」と感想を話した。講演前には、女性部目

J Aはだのは4日、な回ゲートボール大会を開いた。組合員の交流と健康増進を図ることが目的。15チーム85人が参加し、熱戦を繰り広げた。出場者は一打一打集中してプレー。主将の指示に従い、打ち出す方向や力加減を調整するなど、チーム一丸で臨んだ。好プレーには相手チームにも称賛の声を送った。

白熱した試合を制し、上地区の秦野上チームが見事優勝した。準優勝はおね台、3位は曲松の各チーム。

参加者の一人は「地区外の人と交流する良い機会。みんなで楽しくプレーできた」と話した。



かかし作りを教わる園児

鶴巻南地区の市民団体「鶴巻ホタルの会」と「子供会」は3日、同地区のひかりのまち公園で幼稚園児を招き、かかし作りをした。両会の会員約20人が、私立のまき幼稚園の年少クラスの園児約70人に作り方を指導した。

鶴巻ホタルの会の会員が、約3歳の竹で作った骨組みにわらを巻き付けた。地域の方と触れ合いながら農耕行事を学べていきたい」と笑顔で話した。

鶴巻ホタルの会の後藤文彦会長は「昔ながらの農業を伝える機会として、これからも子供会と協力しながら、地域の子もまたちの交流を続けていきたい」と意欲を見せた。

発見 頑張り屋

No.389

地域に密着した店を



地域の方や友人が多いです。一度髪を切りに来たお客さんがまた来店してくれるとうれし、励みになります。中には、何十年も通ってくださる方もいます。仕事以外には、地域の行事や消防団などに積極的に参加しています。いろんな方との交流は、自分を成長させます。趣味はアユ釣りで、修善寺などに、体が続く限りお店を続けていこうと思っています。

尾尻の「とじやフシワラ」を営む藤原達男さん(61)

受け継いだ。現在は夫と妻で地域に密着した店を営んでいる。心掛けています。仕事はまじめに、手抜きをしないことと機械いじりも好きで、

親子で楽しく交流

女性部と連携して ままメートクラブ



手足を使った遊びを楽しむ親子

の親子18組が参加した。女性部目的別趣味グループ「あかね会」の友

会「ふわふわしっぽ」の協力の下、親子は絵本の読み聞かせや歌、あやとり、体操などを楽しんだ。おやつには、かりん糖やフドウゼリーを味わった。歌に合わせて腕や足を動かすなどの体を使った遊びでは、多くの親子から笑顔があふれた。参加した親の一人は「手作りのおやつはおいしかったし、子どもと楽しく体を動かすことができたので、また参加したい」と笑顔で話した。

長寿者に記念品贈呈

おめでとうございませう。末永くお元気でお過ごしください。

88歳(米寿)

▽東地区 坂間タツ子(名古屋)

▽南地区 加藤キン(平沢)

▽北地区 山口重雄(善徳)

▽西地区 津家栄子(堀西)

▽西地区 大澤清江(弥生)

77歳(喜寿)

▽本町地区 松下壽美江(曾屋)

▽東地区 牧嶋郁生(西田原 山口三子(寺山))

▽西地区 飯田好夫(堀西)

※自己申告ですので、該当の方は各支所、支店までご連絡ください。

秋

の

味覚を楽しむ

旬の農産物求めて 収穫体験にぎわう



サツマイモの掘り取りを楽しむ親子

名古木、大倉の2地区の落花生、サツマイモ掘り体験が今年も開園。然に触れる機会が少ないので、子どもにも良い経験になったと思ふ。農家5日には、大倉掘り取りの観光組合の畑に50人以上が来園。来園者は、農家のアドバイスを受けて、畝を掘り起こしてサツマイモの収穫を楽しんだ。

東京都から家族で訪れた来園者は「都会では自らの収穫体験が貴重な機会に思ふ。子どもにも良い経験になったと思ふ。農家5日には、大倉掘り取りの観光組合の畑に50人以上が来園。来園者は、農家のアドバイスを受けて、畝を掘り起こしてサツマイモの収穫を楽しんだ。

楽しく掘り取り観光

J A はだの管内では、さまざまな秋の味覚が収穫時期を迎えた。サツマイモや落花生など、旬の農産物を求める多くの家族連れや団体客で、市内各地の収穫体験イベントがにぎわいを見せている。



落花生の脱粒作業をする家族

はだの都市農業支援センターは12日、堀山下の畑で落花生農園オーナーによる収穫祭を開いた。同センターが観光農業振興に向けて取り組む農園オーナー制度の一環。オーナー家族約60人が参加した。オーナーらは園主から作業を教わりながら、次々と引き抜いた。その後、一粒ずつ丁寧に実を

落花生オーナーが汗

もぎ取る脱粒作業を体験しながら、収穫を楽しんだ。今年で7回目という南が丘の藤田崇史さんは「自然が豊かな場所で、家族で収穫できて楽しかった。自分で落花生を育てるのは難しいが、オーナー制度は農家の方に教えてもらいながら、気軽に収穫を楽しめるから良い」と笑顔で話した。

秦野市園芸協会は8月21日～9月13日、じばさんずで「園芸協会フルーツまつり」を開いた。秦野産果物の魅力を消費者に知ってもらい、消費を拡大することが目的。生産者自ら、対面試食販売や無料配布などに励んだ。

フルーツまつりで 地場産の魅力発信



今年産のブドウの品質を説明する谷井部長

ブドウ試食で 来店者と交流

5日には、8月に行ったフルーツまつりの目玉企画「市内産フルーツプレゼン」の当選者へプレゼントの贈呈式を開いた。多数の応募の中から12人が当選。当選者には、秦野産の梨とブドウを贈った。

6、13の両日には、果樹部会ぶどう部がブドウの試食販売会を開いた。店頭には、部員が持ち寄った「藤稟」と「ピオーネ」をずらりと並べた。谷井保シヨンを取りながら、販売を促し、今年産の品質や品種に応が良かったので、秦野のブドウのおいしさを伝える

袋詰めの栗の 無料配布好評

11日には、果樹部会くち手渡しながら、地場産の栗が栗を無料配布した。事のPRに努めた。開始から前に袋詰めした栗50袋を用数分で終了するなど、好評だった。



小澤部長から栗を受け取る来店者

来店者からは「実が大きくておいしそう」「楽しみにしていたから早く食べたい」などと笑顔があふれた。小澤部長は、「栗の出荷が始まっていることを消費者に伝え、秦野の美味しい栗を多くの人に味わってほしい」と話した。



全国へ秦野産PR

じばさんずが出張販売

じばさんずは8月29、30の両日、東京都墨田区の東京スカイツリータウンで開かれた「国産野菜の夏祭り」に出店した。全国から訪れた来場者に秦野の農産物を広くPRした。

同イベントは、J A 全中とJA全農が8月31日の「やさいの日」にちなんで開いたもの。会場では、ミニトマトすくいコンテストや野菜クイズ大会などが行われた他、日本各地のファーマーズマーケットも軒を連ねた。好評を博したじばさんずの出張店舗

自分だけの箸作る

ちやぐりんスクールに100人

J A はだのは5日、本所でM V 製作教室を開いた。ちやぐりんスクールの一環で、食とエコへの理解を促すことが狙い。小澤部長が講師を務めた。児童も役立てられる。



真剣に箸に色を塗る児童

は、箸の歴史や正しい使い方などを学んだ後、箸作りに挑戦。のこぎりや紙やすりを使って、自分の手の大きさに合わせて長さを整え、一人一人が考えたデザインに仕上げた。作成した箸は、職人による仕上げを経て、10月に児童らの手元に届く予定だ。

組合員とともに より良いJAを目指して

秋の座談会に
ご出席ください

10月2日(金) ▶ 10月16日(金)

市内
84会場で
開催

組合員の皆さまの意見や要望をJAの運営に反映し、組合員参加による協同組合運動を高めようと、秋の座談会を10月2日(金)から10月16日(金)まで市内84会場で開きます。

2015年度の上半期事業報告や「第四次中期経営計画」骨子(素案)、地域の実態に沿った情報などについて話し合います。

また、日頃JAについて疑問に思っていることや、ご意見・ご要望をぜひお聞かせください。組合員の皆さまのご出席をお願いいたします。

JA
はだの

発行所
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)

〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均
印刷所 (株)JA情報サービス

..... 上半期の主な軌跡

6月

June

▶ じばさんずは、地場産のトマトを活用した「トマトドレッシング」を商品化。イタリアンとフレンチの2種類の販売を開始しました(=写真)。

▶ 秦野産小麦を100%使用したコッペパンが、市内全13小学校の給食に登場。農家が丹精して育てた小麦を味わいました。

▶ 子育て支援事業「ままメートクラブ」を開催し、市内の親子18組が参加しました。女性部目的別趣味グループが協力しました。



3月

March

▶ はだの都市農業支援センターによる「はだの市民農業塾」が開講。農業への参画を目指す39人の受講生が頑張っています(=写真)。

▶ じばさんず元気いっぱい生産者大会を本所で開きました。出荷者をはじめ県や市、JAから約130人が参加し、地産地消の躍進に向けて一丸となることを誓いました。



7月

July

▶ 市内で振り込め詐欺などの被害が多発する中、窓口職員らの積極的な声掛けにより被害を未然に防止。本所、鶴巻支店、秦野駅前支店の3店舗が、秦野警察署から感謝状を受け取りました。

▶ 第19回夏休み子ども村を新潟県湯沢町周辺で開催。194人の児童が、地元農産物の収穫や地元米についての学習などを通して、食と農の大切さを学びました(=写真)。



4月

April

▶ じばさんずの来店者が600万人を達成。2002年11月にオープンして以来、12年5カ月で大台を突破しました。(=写真)。

▶ 秦野市園芸協会主催の春まつりを開催。野菜苗や花苗を買い求める地域住民ら約9,700人の来場者でにぎわいました。

▶ 春の座談会を市内84会場で開き、組合員1,271人が出席。592件の意見・要望が寄せられました。



8月

August

▶ 創立記念式を開催。組合員や役職員ら約160人が出席し、これまでの歩みを確認するとともに、今後の発展を誓い合いました。

▶ 夏まつりを本所で開きました。組合員や地域住民ら約2,500人が訪れ、盆踊りやスイカ割りなどのイベントに参加。地域一体となって夏の一日を満喫しました(=写真)。



5月

May

▶ 第52回通常総会を文化会館大ホールで開催。8議案を全会一致で可決し、任期満了に伴い、新役員が選任されました。

▶ 2015年度の協同組合講座がスタート。協同組合運動の活性化や組織リーダーの育成を目的に、組合員基礎講座、組合員講座、専修講座の3講座を用意。136人が受講しています(=写真)。



豊かな社会を協同の力で!

2015年度上半期の状況

JAはだののすがた 2015年8月31日現在
()内は前年同期実績 数字は単位未満切り捨て

11 万が一に備えての共済

長期共済新契約高

220億円(254億円)

長期共済保有高

4,565億9千万円(4,625億3千万円)

上半期に支払った共済金額

740件 **4**億7千万円
(1,275件 6億5千万円)

2,028件 **21**億2千万円
(2,227件 25億5千万円)

1,637件 **14**億7千万円
(1,564件 13億9千万円)

12 活動のみより

上半期剰余金

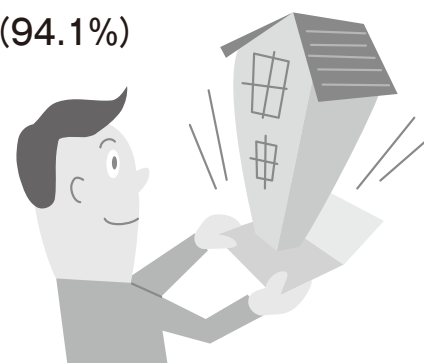
2億6千万円(1億9千万円)

13 (株)協同コンサルトはだの

- まかせて安心JAのマイホーム建設
- 入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん

入居率

95.9%(94.1%)



※入居率はJA系統の管理会社2社の数値です。

8 暮らしのための 共同施設の利用

- JAセレモニーホールはだのの運営の充実強化
- 利用者に満足いただける旅行の提供

全体の取扱高

3億3千万円(3億8千万円)

主な施設の取扱高

旅行センター **5**千万円(6千万円)

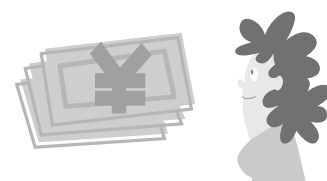
JAセレモニーホールはだの
108件 **2**億7千万円(119件 3億円)

9 便利で安心JAバンク

- 特別貯蓄運動・キャンペーンの実施
- 年金相談会の開催

貯金残高

2,164億円(2,055億7千万円)



10 農業・生活・事業資金 などのご融資

- 農業振興や生活・事業などの資金対応
- 休日ローン相談会の開催
- 住宅・マイカー・教育ローンとくどくプランの実施

貸出残高

450億2千万円(455億1千万円)

6 健康と福祉の取り組み

- 健康管理活動の充実
- 高齢者福祉活動の充実
- 生活文化活動や子育て支援への取り組み
- 健康福祉基金による支援活動の充実

ケアセンターの利用状況

▶居宅介護支援事業
利用者人数 **468**人(487人)

▶訪問介護事業
利用者人数 **261**人(271人)

▶介護予防訪問介護事業
利用者人数 **41**人(58人)



7 共同購入で暮らしを 豊かに

- 予約購買による生産資材の供給
- 安全・安心な生活物資のPRと供給

全体の供給高

15億6千万円(20億9千万円)

内 生産資材 **6**億8千万円(8億1千万円)
生活物資 **8**億8千万円(12億7千万円)



4 安全・安心な 農産物の供給

- 「はだのじばさんず」を中心とした新鮮で安全・安心な農産物の供給

はだのじばさんずの利用状況

利用者人数 **28**万人(28万人)
1日当たりの利用者数 **1,553**人(1,554人)

取扱高 **5**億2千万円(5億1千万円)
1日当たりの取扱金額 **283**万円(282万円)

全体の取扱高

12億8千万円(12億4千万円)



5 営農活動の取り組み

- 「地域農業振興計画」による営農指導の充実
 - ・営農相談や担い手育成支援、営農情報の発信
 - ・農作業事故防止を目的に「農作業安全運動」の実践
 - ・地域の特性に合った振興作物の試験栽培
- はだの都市農業支援センターとの連携
 - ・体験型農園オーナー制度や旅行会社と連携した観光農業の実践
 - ・鳥獣被害防止に向けた取り組みの実践

1 みんなの仲間

組合員数 **13,925**人(13,673人)

内 正組合員数 **2,979**人(3,020人)
訳 准組合員数 **10,946**人(10,653人)

組合員戸数 **11,483**戸(11,298戸)

内 正組合員戸数 **2,359**戸(2,384戸)
訳 准組合員戸数 **9,124**戸(8,914戸)

2 資本の状況

資本の合計

146億6千万円(143億4千万円)

内 出資金 **18**億2千万円(18億3千万円)
訳 準備金・積立金他 **128**億4千万円(125億円)

単体自己資本比率

19.21%

(2015年2月28日現在)
(国の基準4%以上、JAバンク自主基準8%以上)

※資本は、貸借対照表の「純資産」のことです。

3 組織活動 教育広報の取り組み

- 協同組合活動の啓発と組織リーダーの育成
- 次世代対策活動と食農教育活動の充実
- 生産組合組織の活性化に向けた取り組み
- 農政活動・税制と補償対策

JAはだの「第四次中期経営計画」骨子(素案)について

1. 策定にあたって(案)

JAはだのでは、中長期的な視野に基づき取り組む事項を整理するため3年ごとに「中期経営計画」を策定し、それを基礎に単年度ごとの事業計画でその具体的な実践に取り組んでいます。今回の計画は、農協法改正に対応するとともに、JA全国・県大会決議事項とJAはだの独自の「JAはだの営農経済改革」を反映することで、より実効性のある計画を策定しようとするものです。

策定にあたっては、JAはだの自己改革を重点項目とし、「農業者の

所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向け具体策を明確に示していきます。

また、「中期経営計画策定委員会」や「計画策定プロジェクト会議」を開催し、取り組むべき課題を抽出・分析し、課題解決や3カ年での目標達成に向けた実践方策について、検討と討議を行います。

JAはだのが目指す地域農業振興と地域社会の活性化に向け、多くの組合員の皆さまの意見をお聞かせください。

2. 計画策定の考え方(案)

「運営基本構想」で明確にした基本理念『夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく』をベースに、「組織」「事業」「経

営」を柱にした取り組み課題と改善方策を示し、目指すべきJA像を明確にします。

農協法改正のポイント

- 農業所得の増大に最大限の配慮を行い、利益を上げ事業成長への投資や事業分量配当に努める
- 理事の過半数を原則として認定農業者または事業・法人経営に関し実践的能力を有する者とする
- 准組合員の利用規制については5年間に事業利用状況、改革の実施状況を調査し結論を得る

協同組合を否定？

農業・JAをめぐる情勢

課題

- 農業従事者の高齢化
- 鳥獣被害・荒廃農地の増加
- 輸入農畜産物の増加
- 農地課税強化の動き

期待

- 食の安全・安心への関心
- 都市農業振興基本法の制定

経済・社会情勢

少子高齢化、人口減少

TPPなど国際圧力

地域社会の機能低下

異常気象による自然災害

JAはだの自己改革への挑戦

1. 総合事業の展開により、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に全力を尽くす
2. 「担い手の育成支援」「販売力の強化」「生産資材価格メリットの提供」を最重要課題とした営農経済事業の改革
3. 営農経済部門の事業体制強化整備と事業収支の改善。役員選出の仕組みの構築と役員執行体制の整備

実現に向けた主な取り組み

2 事業活動改善計画

- 営農指導事業
・相談機能と支援体制の強化による担い手の育成
- 販売事業
・新鮮で安全・安心な農産物の提供
- 生活福祉事業
・6次産業化への取り組み育成支援
- 経済事業
・相談機能発揮による生産コスト低減提案
- 金融事業
・農業、生活のメインバンク機能充実と相談体制の強化
- 共済事業
・次世代、担い手、ニューパートナーの保障充実

JAはだの営農経済改革(重点項目)

- 「第二次地域農業振興計画」の目標達成に向けて実践強化
- 営農関係の職員人材確保と育成による営農指導体制の強化
- 「はだのじばさんず」など直売所の運営工夫による販売力強化と安全・安心への追求
- 生産振興作物の選定と買い取り販売拡大による生産者の手取り金額向上
- 大口利用者や予約購買、仕入れ先選定などによる価格メリットの実現

1 組織および組織運営改善計画

- 支所(店)を拠点とした組織活動の展開
- 准組合員とJAの関係強化
- 組合員教育事業の充実と広報活動の強化

3 経営管理改善計画

- 農協法改正に対応した役員選出の仕組み構築と執行体制の整備
- 女性や後継者が経営に参画できる体制づくり

「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」の実現